

－ 第5次総合計画後期基本計画・第3期総合戦略に向けて －

楽しい和東へ一直線 魅力向上委員会 実施報告書

- 【開催日時】 令和7年5月18日（日）14:00～16:00
 【開催場所】 和東町観光案内所2階
 【参加人数】 10名
 【配布資料】 楽しい和東へ一直線 魅力向上委員会資料（ppt）

【スケジュールと項目】

14:00～	開会の挨拶
14:05～	本日の進め方の説明
14:20～	自己紹介
14:30～	ワークショップ（WS） 選ばれる町、楽しい和東町
15:45～	チームからの発表
15:55～	閉会の挨拶

和東町を「楽しい・安心」を感じられる町にするために、「楽しさ・安心に足りないこと」、「楽しい・安心に変えていくために必要なこと・できること」を3ステップで下記の模造紙のイメージのように検討し、その内容をチームごとに発表していただきました。

- ステップ1** それぞれの立場で、「楽しさ・安心に足りないこと」を書き出してみよう（各自で）
- ステップ2** 付箋の内容をチームで共有しながら模造紙に配置・整理する（チームで）
- ステップ3** 「楽しい・安心」に変えていくために必要なこと・できることを考える（チームで）
- ステップ4** まとめた結果を発表（チームで）

模造紙のイメージ

ステップ1～2

	子ども・学生	若者	子育て世代	働く世代	高齢者	自身
1						
2						
3						

模造紙のイメージ

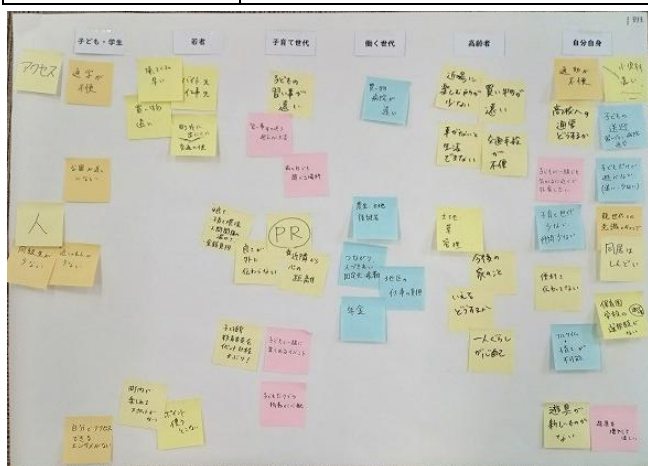
ステップ2～3

	個人	大勢or行政	行政or民間企業
1	安心して遊ばせたい	公園に子どもを見守るみまもり隊の配置	休日の学校開放
2			犬とも遊べる公園の整備
3			

楽しさ・安心に足りないこと

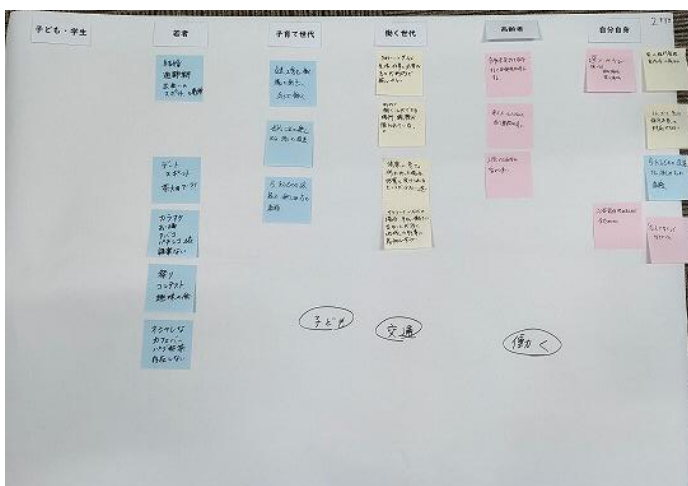
I 班

子ども・学生	・アクセス ・人 ・自分でアクセスできるエンタメがない	・通学が不便 ・同級生が少ない	・公園が近くにない ・近くの友人が少ない
若者	・帰ってくるの早い ・町外に出にくい 交通の便	・バイト先 仕事先 ・町内で楽しめるスポットがない	・買い物遠い ・ポイント使うとこない
子育て世代	・子どもの習い事が遠い ・PR ・近隣から心の距離 ・子どもだけの移動が心配	・習い事等の送り迎えが大変 ・良さが外に伝わらない ・子ども館 教育委員会イベント日程かぶり	・雨の日でも遊べる場所 ・良さ 子育て環境 人間関係の温かさ 金銭負担 ・子どもと一緒に楽しめるイベント
働く世代	・農業 土地 後継者 ・年金	・つながり 人づきあい 固定化・希薄化 ・買い物 病院が遠い	・地区の仕事の負担
高齢者	・近場に楽しむ所が少ない ・交通手段が不便 ・土地 草 管理	・買い物が遠い ・今後の家のこと ・一人ぐらしが心配	・車がないと生活できない ・いえをどうするか
自分自身	・通勤が不便 ・高校への通学どうするか ・子育て世代少ない 仲間少ない ・便利さ伝わってない ・遊具が新しいものがない	・小児科遠い ・子どもが一緒にいても気がるに近くて外食したい ・親世代との意識のギャップ ・保育園学校の選択肢がない 逃げ場 ・遊具を増やしてほしい	・子どもの送迎 習いごと 病院 通学 ・子どもだけで遊べない (遠い・少ない) ・同居はしんどい ・フルタイム+子育てが不可能



2 班

子ども・学生			
若者	・結婚適齢期・出会いのスポット、場所 ・祭り コンテスト 趣味の会	・デートスポット 茶畑で？！ ・オシャレなカフェバー パブ喫茶 存在しない	・カラオケ お酒 タバコ パチンコ etc 娯楽ない
子育て世代	・企業を含む働く場の創出 近くで働く	・世代ごとに楽しめる場の提供	・今あるものの深堀と楽しみ方の教授
働く世代	・クリーニングなど生活、仕事に必要なものが町内で揃いづらい ・サラリーマンなどの場合、平日に働きに出ることが多く地域の行事に参加しづらい	・町内で働くことができる 場所、職種が限られている	・健康に急きょ何かあった場合、診察を受けられるところが少ない遠い
高齢者	・自動車免許を返却すると利便性が低下する	・老人ホームに入るのに待つ期間が長い	・入院できる病院が家から遠い
自分自身	・選ぶ（選べる）が少ない 働く場所・買う場所 ・今あるものの深堀りと楽しみ方の享受	・家の維持管理 自治会の参加 ・必要最低限はあるけど余白がない	・1人だと急な体調不良に対応できない ・「なんとなく」で生きにくい



「楽しい・安心」に変えていくために必要なこと・できること

I 班

	個人	大勢 or 行政	行政 or 民間企業
○アクセスの不便を減らしたい	・オンライン診療も選択肢 ・町内の子ども移動にWazCar	・WazCar 予約システム使 いやすく！！前日 17 時まで & ネット土日 NG は使いにくい ・ライドシェア 子どもの集団送迎（加 茂・木津駅） ・移動販売の復活	・宇治からのバス ・奈良交通利用促進 観光客利用で金額確 保 住民利用は負担額補 助で利用数確保
○元気な高齢者に 続く世代を増やし たい	・習い事を町の大人から まなぶ ・子育て世代への高齢者 の理解促進 ・発達障害などの子供へ 居場所	・リモート環境 PR ・補助金 ・PR をうまくする ・ちんたいをふやす ・おためし移住	・農業を盛りあげる ・農業法人 ・副業 多様な働き方を 叶える
○近隣の人に町の 魅力を伝えたい	・和束から半径 20km 片 道 30 分は意外と色々 ある！ 心がおだやか 自然がいっぱい 空気がおいしい	・子どもの経験価値の PR 農業 自然 ・子どものあそび場 ・子育てインスタ ・イベント日程をかぶら せない ・子供 1 人につきの補助 金だす ・おためし移住をする ・景観管理 ・魅力を伝えるイベント ・お茶の博物館 ・お茶抹茶講座 ・体験をふやす	・保育園留学 ・和束の魅力を PR ・行政関係の人は町内に 住む

■発表

○アクセスの不便を減らしたい

どの世代にも共通してアクセスの不便による困り事があった。

ライドシェアのような形で子どもの集団送迎をして不便さを改善していく。

WazCar の予約をしやすいとする、思いついたときに予約できるようにする。

奈良交通のバスは観光客に使ってもらう。また、住民利用に対しての補助制度があるといい。

トンネル開通に合わせて9時台のバスの運行があるといい。

通院の移動負担軽減のためオンライン診療の周知が進むといい。

○元気な高齢者に続く世代を増やしたい

和束町には元気な高齢者が多いが、続く世代が少ないという課題があると思う。

できることとしては、習い事を町の大人から学ぶ、子育て世代への高齢者の理解を進めること。

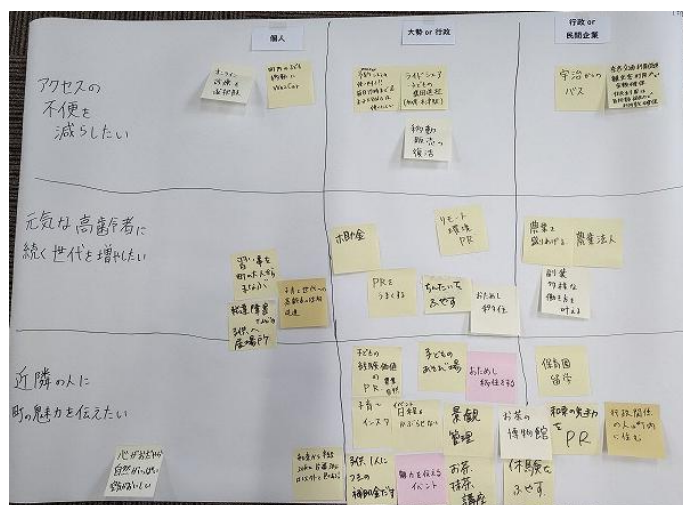
行政では、移住しやすい環境づくり、町の PR が必要。

若い人が農業に参入しやすいような仕組みづくりや副業含め多様な働き方を叶えることも大事だと思う。

○近隣の人に町の魅力を伝えたい

いいところが伝わりきっていないため、心穏やかに過ごせる、自然がいっぱい、空気がおいしい等素敵なところを伝えていきたい。

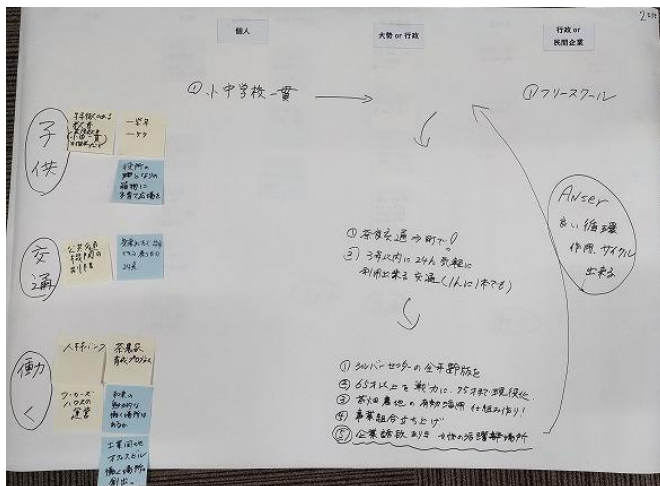
農業や自然が身近にあることが子どもの豊かな経験となることの PR、お試し移住、イベントの日程の調整、お茶の博物館をつくる、行政職員が町内に住む、保育園留学等ができるといい。



2 班

	大勢 or 行政	行政 or 民間企業
○子供	・特徴ある教育 英語教育 (小中一貫) 村留学など ・一学年一ケタ ・役所のとなりの箱物に子育て広場を	①フリースクール
○交通	・公共交通機関の制限 ・気兼ねなく活用できる乗りもの 24h	①奈良交通⇒町で！ ②3年以内に 24h 気軽に利用出来る交通(1hに1本でも) ↓
○働く	・人材バンク ・茶農家育成プログラム ・ワーカーズハウスの運営 ・和束の魅力的な働く場所はあるか ・工業団地 オフィスビル働く場所の創出	①シルバー人材センターの全年齢版を ②65才以上を戦力に 75才まで現役化 ③茶畑農地の有効活用 仕組み作り！ ④事業組合立ち上げ ⑤ <u>企業誘致ありき</u> <u>女性の活躍場所</u>

Answer
良い循環
作用 サイクル
出来る



■発表

○子どもの環境整備

Ⅰ学年の子どもの人数が少ないことが問題になっている。

町外の私立中学に進学することを抑制するため魅力ある子育て環境、教育の場が必要。

フリースクール開設や小中一貫校とするという意見があった。

○交通網の整備

公共交通機関の制限や、気兼ねなく活用できる乗り物の整備が必要。

第三セクターを活用する等、地域の公共交通を使いやすくする。

Ⅰ時間にⅠ本でも 24 時間利用できる交通機関の整備が急務ではないか。

○働く場所の創出

全年齢版シルバーセンターのような、どの年齢の人でも就労を希望する人が登録し、仕事を紹介してくれるような組織が必要。65 歳以上の人も戦力にする。

耕作放棄地等を活用し、平日仕事をしながら土日に畑作業をしたい人等希望する様々な人が茶畑に関わるができる仕組みづくりが必要。

活動の幅を広げるため、農家の事業組合の立ち上げが必要。

企業誘致が一番大事ではないかと思う。働く場所があることによって町内へ来る人も増える。

近くに大きな会社があれば、子育てしながら女性が働く場となる。働く場へ行くための交通網を整備するといいい循環が生まれるため、企業誘致が大事だという結論となった。